資料11

課題研究　平塚市総合交通計画等の改訂に向けた検討について

前回の協議会で示された「平塚市総合交通計画等の改訂」に関連して、委員から課題を提供いただきましたので、意見交換いたします。

【課題内容】

① 隣接する市町村のウェブサイトを参照したところ、伊勢原市においては本年6月に『総合車両所の移転計画地周辺における「新たな地域拠点」の創出に向けたまちづくりのイメージに関する中間とりまとめ』(※①)が公表されており、スマート新駅の検討が記載されておりました。

平塚北部地域からは小田急利用のバス利用者も多い(特に岡崎地区等)と思われます。スマート新駅検討の動向見据えながらの検討も必要になってくるかと思います。

「総合交通計画」での計画図上は小田急沿線各駅へは矢印表示だけのように見受けられます。国、県、神奈中等の皆さんが協議会メンバーですので隣接市の計画も視野に入れておくのも重要かと思います。

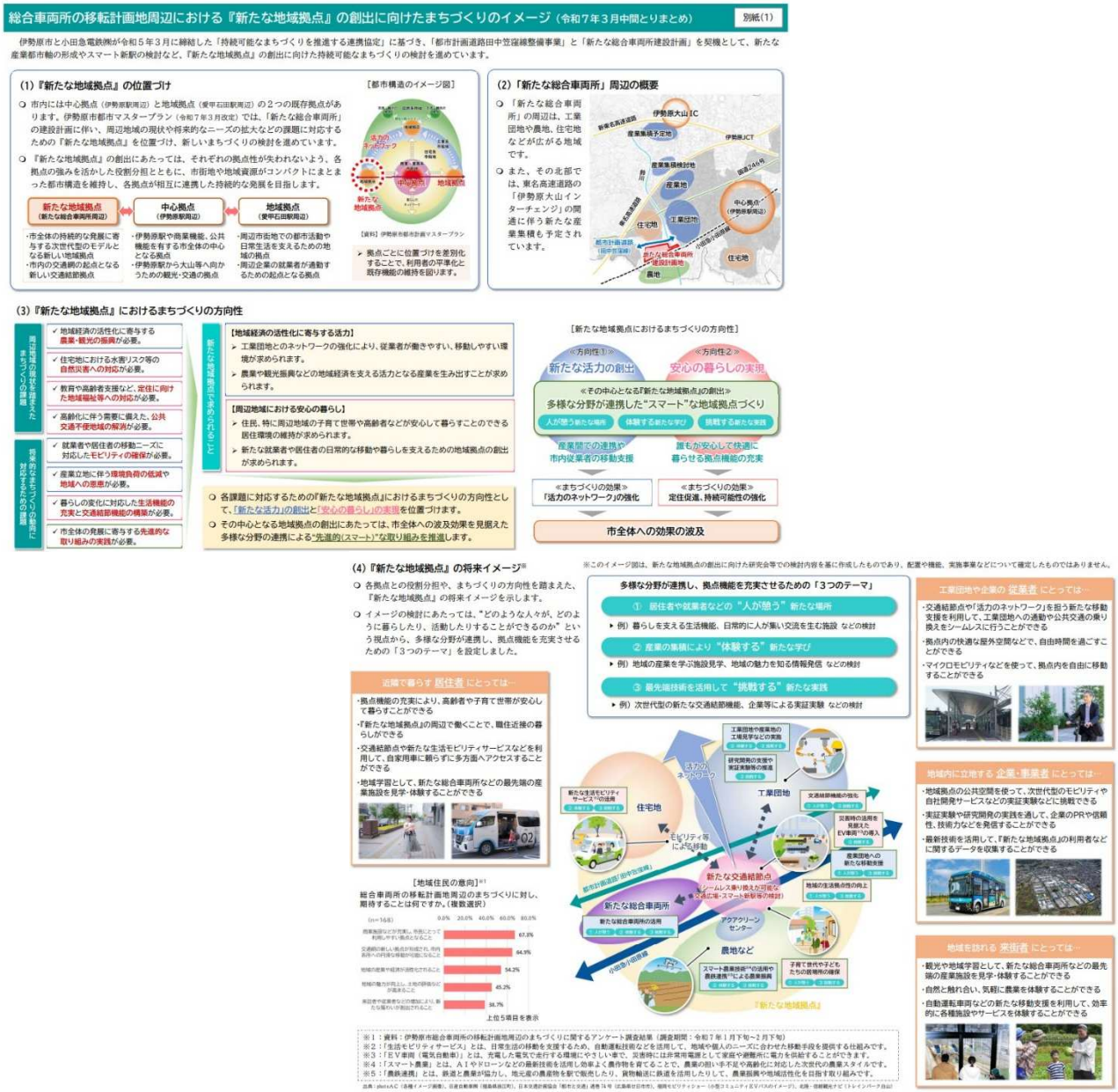
② 関連して、JR 平塚駅ならびに駅前広場についても新技術の実装化ならびに「リビング」に向けた環境整備(※②)を見据えると、交通実態(駅出口乗降、バス乗降、タクシー乗降、送迎車両ならびにそれらの歩行動線)を把握し、交通機能空間としての必要な規模、広場空間としての活用規模について定量的データをもとに具体化検討を進めていくことが重要だと考えます。

以上、次年度以降の検討内容について、わかる範囲でお伺いします。

あわせて、昨今のシーテラス問題、神奈川大学跡地問題等、市民レベルの合意のプロセスプランニングで齟齬が生じないように期待いたします。

～参考資料（事務局からの補足）～

※①　総合車両所の移転計画地周辺における『新たな地域拠点』の創出に向けたまちづくりのイメージ（令和7年3月中間とりまとめ）【伊勢原市資料から一部抜粋】



（参考）平塚市との位置関係　令和5年3月8日　伊勢原市・小田急電鉄プレスリリースを元に加工

※② 平塚駅周辺地区将来構想（令和7年3月策定）から一部抜粋

≪まちづくりのコンセプト≫

平塚駅周辺地区をみんなのリビングに

**～充実した日々の中にときめきを感じられる
それぞれが居心地の良いまちづくり～**

住む人、働く人、遊びに来る人、事業を始める人など、誰もがそれぞれのお気に入りの空間や体験を見つけることができるように、平塚駅周辺地区を家の中で家族が集まり、くつろぎ、様々な目的に合わせて過ごす「リビング」に見立てます。

平塚駅周辺地区では、市民、事業者、行政が連携して多様な活動、交流が展開される空間や仕組みを地域資源※や多様な人材、新技術などを活用して創出することで、様々な人が快適に安心して過ごし、充実した日々の中にときめきを感じられる居心地の良い「リビング」のようなまちを目指していきます。

平塚駅周辺地区での過ごし方

『くつろぐ』

コーヒーをテイクアウトしてベンチで休憩

『遊ぶ』

チャレンジショップでクラフト体験

『集まる』

商店街のイベントに参加

『食べる』

マルシェで食事

『働く』

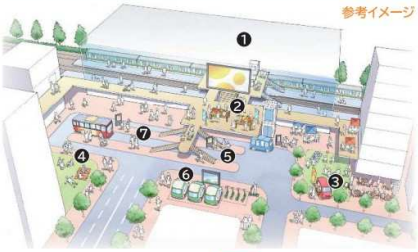
託児所付のコワーキングスペース※でリモートワーク

≪駅前広場の将来像≫

■北口駅前広場の将来像

**様々な公共交通へ乗り換えやすく
多様な活動と平塚の魅力に出会える拠点**

参考イメージ



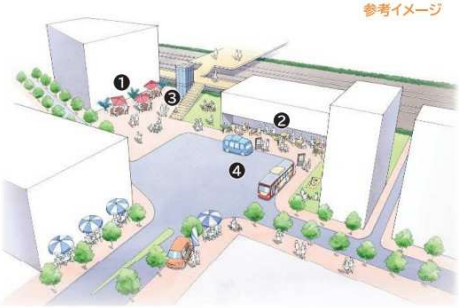
❶平塚の魅力を感じられる機能の検討 方針1
❷余暇活動など様々な活動を行える場づくり 方針2
❸店舗と一体的な活用による滞留・交流空間の創出 方針2
❹沿道店舗と公共空間の一体的な活用のための建物更新 方針4
❺地下空間の有効活用を検討 方針6
❻最新技術に対応した多様な交通に乗り換えられるハブ機能の整備 方針6
❼自動運転など最新技術に対応したロータリー整備 方針7

方針○ 対応するまちづくりの方針を示しています。なお、複数の方針が対応している場合は、代表的な方針を示しています。また、地区全体に関わる方針は記載せず、当該エリアの特徴的な方針のみ示しています。

■南口駅前広場の将来像

**様々な公共交通へ乗り換えやすく
海を感じる交流拠点**

参考イメージ

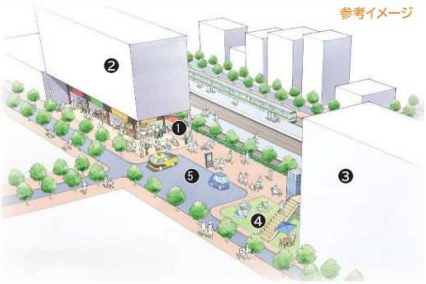


❶海が感じられるイベントの実施 方針2
❷多くの人が集まる機能を誘導 方針3
❸沿道店舗と公共空間の一体的な活用のための建物更新 方針4
❹自動運転など最新技術に対応したロータリー整備 方針7

■西口駅前広場の将来像

**より快適に電車に乗り換えられる
平塚の活力を感じる新しい拠点**

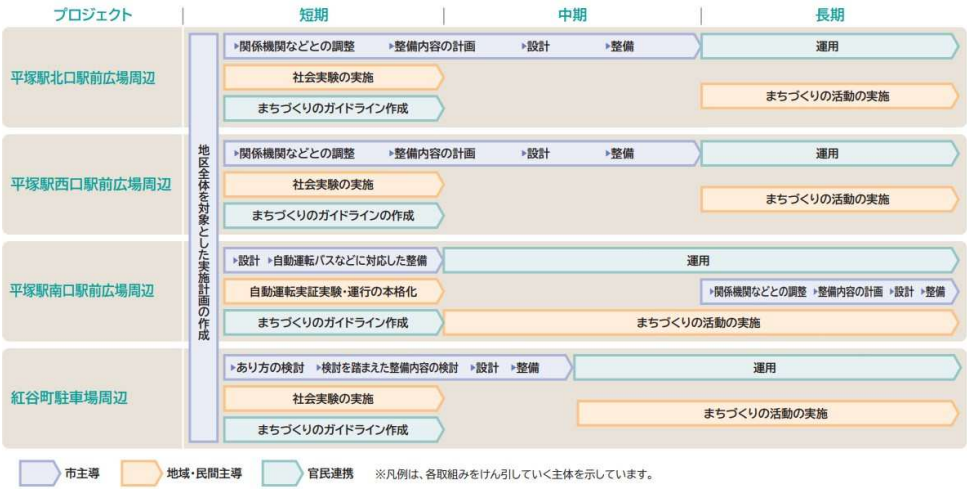
参考イメージ



❶店舗と一体的な活用による滞留・交流空間の創出 方針2
❷多くの人が集まる機能を誘導 方針3
❸近隣の民間建物と連携した再整備 方針4
❹沿道店舗と公共空間の一体的な活用のための建物更新 方針4
❺自動運転など最新技術に対応したロータリー整備 方針7

方針○ 対応するまちづくりの方針を示しています。なお、複数の方針が対応している場合は、代表的な方針を示しています。また、地区全体に関わる方針は記載せず、当該エリアの特徴的な方針のみ示しています。

≪フラッグシッププロジェクト≫



以 上